

お忙しくても、約 2 分間で読めます

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 改めて問う「経営者の仕事とは何か」 丹羽 宇一郎（伊藤忠商事会長）

1. 最近、企業経営における価値観が、欧米型に振れ過ぎている。危険な気がしてならない。欧米型の企業経営とは、単純に言えば、売上高や利益、あるいは時価総額といった数値で優劣を決める経営だ。組織の担い手である社員も、成果主義で処遇し、賃金を決める。確かに分かりやすい。しかし、何事も行き過ぎはよくない。経営者の関心が利益を出すための効率に向き過ぎた結果、正社員の雇用を最小限に抑え、パート・アルバイト、派遣、請負などの非正社員を増やす企業が増えている。
2. 効率重視の風潮は、バブル崩壊後、日本企業の国際競争力が低下し、欧米の株価至上主義が経営に組み込まれる過程で顕著になった。ここで問題なのは、自らの優先使命は利益の極大化だと認識した企業トップが、同時に「社員教育や企業倫理から解放された」と勘違いしたことにある。「成果主義」の名の下に、社員を下人扱いしているかのような振る舞い、経営理念や仕事に対する姿勢といった基本を自ら教えない企業が増えている。
3. その結果、何が起こったのか。不正や事故、商品欠陥の隠蔽など、企業がブランドを棄損するような不祥事が相次いでいる。形だけでない本来の企業倫理が置き去りにされてしまった。企業が社会的な信用で成り立っている以上、経営者の仕事は重いのだ。  
(参考：「日経ビジネス」2006年9月4日号)

## 新規成長分野

### 新しい意味での有帽時代

1. 第二次大戦前、男は帽子を被るのが自然だった。三つ揃いの背広を着、ソフト帽を被り、手提げ鞆を持つのが勤め人の姿であった。ところが第二次大戦以後、世界的にゆっくりと帽子が少数派になっていく。ところが、無帽の時代になってからざっと、50年後の今、ふたたび有帽の時代が始まり出したのだ。
2. 帽子はまず小道具として優れている。小雨程度なら傘をささずにすむ。多少風が強くても髪を乱されることがない。夏には日除けになり、冬は簡便な防寒具になってくれる。ヤキイモや焼き栗を買った時の、ポケット代わりとしても役立つ。とりあえず、ヘッド・ウェアの刺激を借りて、とにかく帽子を被ってみることだ。

(参考：「選択」：2006年10月号)

## 経営者のための経済学

### アダム・スミスの「公正と正義」

#### 橋本 俊詔（京都大学教授）

1. 経済学は他の人文・社会科学と比較してその歴史は短い。哲学、法学、政治学は古くからあったが、経済学がその歴史に産声を上げたのも、18世紀後半のイギリスのアダム・スミスの「国富論」からといえるだろう。スミスは、経済学の父と称されている。
2. スミスは価格機構への信奉が厚く、経済活動は自己の欲望に応じて自由のなすがままがよいと考えていた、ととらえがちであるが、彼は「国富論」に先立つ「道徳感情論」で、公平とか正義という道徳的な感情も人間にとって大切であると説いている。拝金主義に陥ることのある市場原理主義の下で、歯止めの必要を主張していたことを忘れてはならない。

(参考：「日経ビジネス」2006年9月2日号)

## 古典に学ぶ

### 経典を離れるもまた学問

「古人は経を読み以て其の心を養い、経を離れて以て其の志を弁ず。則ち、独り経を読むを学と為すのみならず、経を離るるも亦是れ学なり」

(訳) 昔の立派な人は、経典を読んで心を養い、経典を離れて、自分の志す所を考えていた。このように経典を読むだけが学問ではなく、離れても学問はあるのだ。  
(参考：佐藤一斎「言志四録」：PHP文庫)